

START

ツリーハウスプロジェクトが再始動
児童公園にツリーハウスを作りたい

夏休みからのスタートを予定していた「公園にツリーハウスを作るプロジェクト」は新型コロナウイルス感染拡大で10月に延期が決定。子どもから大人まで誰でも参加できる企画となっている。申込みは9月27日までに専用フォームから。初日は10月2日から計5回の開催を予定。



昨年はDIYでベンチづくりチャレンジ



申込みフォーム

一緒に遊びに行ってるなんてこともよくあります。ゲストハウスを拠点に地元の人しか知らないディープスポットを案内して回る。さらに長期滞在している人も、教えてもらった錦江町の穴場を案内して回ったり。ゲストハウスは食べる場所、飲むところ、泊まる場所と目的を明確にしています。集まった人たちがなにか面白いことをやってみる。本当は自分たちスタッフも一緒に遊びたいんですけど、「と話しながらも、よろっでで出会った人たちを見送る



宮城県でゲストハウス受け橋を運営する田中惇敏さん

錦江町に移住するきっかけにもなった田中さんもオープンに駆け付けた。高校の同級生でバドミントンではダブルスを組むなど互いを深く知る2人。よろっでのアドバイザーも担う。

START

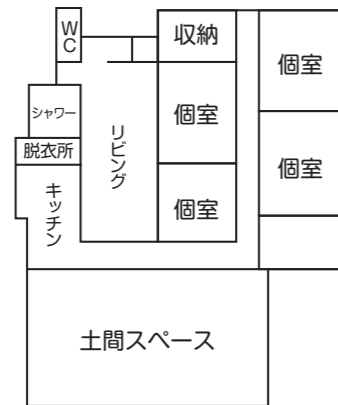
広さ50坪を超える空き店舗兼住宅をリノベーション中
錦江町のリアルな暮らしを体験できるシェアハウス



土間の使い道はこれから検討



空き家リノベーション3棟目は、錦江町馬場地区にある商店跡を活用したシェアハウスを企画。土間付きで部屋は6部屋と広さは十分だ。傷んだ畳を剥がし床を補修。着々とオープンに向け仕上がっている。錦江町でのリアルな暮らしを体験できる長期滞在者向けのシェアハウスとして活用予定と山中さんは話す。



ことに最近はやりがいを感じていると続ける。
シェアハウス2棟目もオープン人とまちの接点のような存在へ
ゲストハウスのほかに、1棟の家を数人で借りて生活するシェアハウスも手掛けている。「ゲストハウスにくらべ比較的長く滞在できるので地域の暮らしをリアルに体験し、将来の生活をイメージできると嬉しいがあります。移住につながると嬉しいですが」と、小さな期待も寄せ

る。最近ではシェアハウス2棟目をリノベーションしている真っ最中。よろっでのスタッフも兼ねて入居者を募集しているが、すでに10名以上から希望の問合せがきている。
「よろっでは人口増が目的ではありません。錦江町が好きだからまた来たいと思ってくれる人が増えること。遊びに行こうかな、今度は少し長く滞在してみようかな、できればその先に住んでみようかなと思っもらう。そんな人とまちの接点のような存在になれたらと思います」。



天野雄一郎さんと始めた「花の木農場4ツクルプロジェクト」も毎月開催している。



にゲストハウスを立ち上げるとい話を聞きました。単純にももしろそうと思いましたね。町がゲストハウスなんて」と懐かしそうに振り返り笑みがこぼれる。すぐに錦江町へ向かった山中さんが出会ったのが日本中のゲストハウスを旅して回っていた大学生の井上聡佑郎さんだった。この出会いが後に錦江町ゲストハウスよろっで誕生につながっていく。

ゲストハウスの魅力と可能性とは
ディープな錦江町を発掘できる？
「大事なことはどこでやるかではなく誰とやるか。プロジェクトの話し合いに参加したときの熱に、ここで起業したいと決めました。正直、空き家対策とか難しい話抜きに、自分を受け入れてくれる温かさに惹かれたように思います」と照れくさそうに笑いながらも、変わらない意志が垣間見える。そんな山中さんが感じるゲストハウスの魅力と可能性について聞いてみた。
「泊まりに来たお客さんや飲みに来ていた地元の人たちが、翌日には



あかり
株式会社 燈 / 錦江町ゲストハウスよろっで
代表 山中陽さん (やまなか・あきら)

大阪教育大学卒業後は大阪で2年間小学校の教員を務める。転職後2年はソフトバンクで勤務し、社会人5年目となる2019年4月から錦江町未来づくり専門員として着任。最近、猫を飼いだめた、釣りとBBQが大好きな28歳。

ものづくりで地域ブランド化



鹿児島県や錦江町が誇る地域素材を活かした「ものづくり」で、町のブランド化や商品制作、町民向けワークショップ、ふるさと納税の商品企画などを行う。

地域木材を活用した産業創出



森林面積が約70%を占める錦江町の木材を活用し、木製商品の制作や将来を担う子どもたちに林業へ興味や関心を持ってもらうための木育などを推進する。

コミュニティスポーツの推進



コミュニティスポーツクラブの企画運営をサポートし、障害のある方や高齢者など運動不足になりがちな方の健康増進を図る。スポーツに親しめる場を作る。

総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、左記活動を行ってもらう専門員を募集中。

募集する専門員の活動内容

応募方法
応募締切 令和3年9月30日
提出書類 履歴書兼応募用紙・職務経歴書
●応募用紙やくわしい募集内容は、錦江町ホームページに掲載しております。

任命期間
任命期間は1年間で、最長3年まで更新できます。(1年ごとに更新)

募集対象・応募資格
① 過疎地などに指定された地域以外から転出する方(都市部からの移住者)
② 委嘱日時点で18歳以上おおむね50歳以下
③ 普通運転免許資格を有していること
④ 基本的なパソコン操作ができること
⑤ 委嘱日までに錦江町へ移住できること

未来づくり専門員を募集中
応募締切は9月30日まで
錦江町では地域課題解決に向けてテーマを設定し、総務省の地域おこし協力隊制度を活用して未来づくり専門員を委嘱しています。意欲のある都市住民の感覚と、新たに吹き込む風を地域活性化への起爆剤として毎年募集。今回は3テーマで募集しますので希望される方は9月30日までに申込みください。